

1 6 . 植裁維持管理台帳作成要領 (案)

目 次

1. 植栽維持管理台帳作成の意義と目的 ----- 16-3
2. 植栽維持管理台帳記載要領 ----- 16-4

1. 植栽維持管理台帳作成の意義と目的

道路植栽を含め、植栽工事は工事が完了しても目標とする緑化レベルが達成されたことにはならない。その後の適正な管理によって樹木は生長し、緑化機能が発揮され、緑化の質は向上するのである。

従って道路緑化の計画及び施工の目的に対応した適正な管理を行うことが必要であり、そのためには、まず管理区間内の国道の緑化状況（緑化区間延長等）、植栽形式、植栽地構造、樹種、規格、数量、支柱、植栽年度、その後の管理状況等を把握しておくべきである。

植栽維持管理台帳は以上の目的に沿って植栽施工後の維持管理のための基礎資料として作成するものである。

沖縄の国道については管理主体別に、北部国道事務所、南部国道事務所毎に作成する。

2. 植栽維持管理台帳記載要領

調査項目を路線別に整理すると同時に、今後の維持管理計画のための資料にするため、樹種別年間管理計画・管理記録・管理者メモ・施工者メモ・植栽樹木現況写真・樹木特性等を把握し、さらに5ヶ年間記録できるように考慮して台帳の様式を以下のように定める。

様式Ⅰ 路線別全体図

路線内の植栽されている位置とその区間距離、植栽形式別実延長等を把握する。

様式Ⅱ 路線樹木集計表


路線内に植栽されている樹木を規格別に分類して、樹木総数・樹種別年間管理計画を把握する。また、その路線内の定期的な管理状況を記録する。

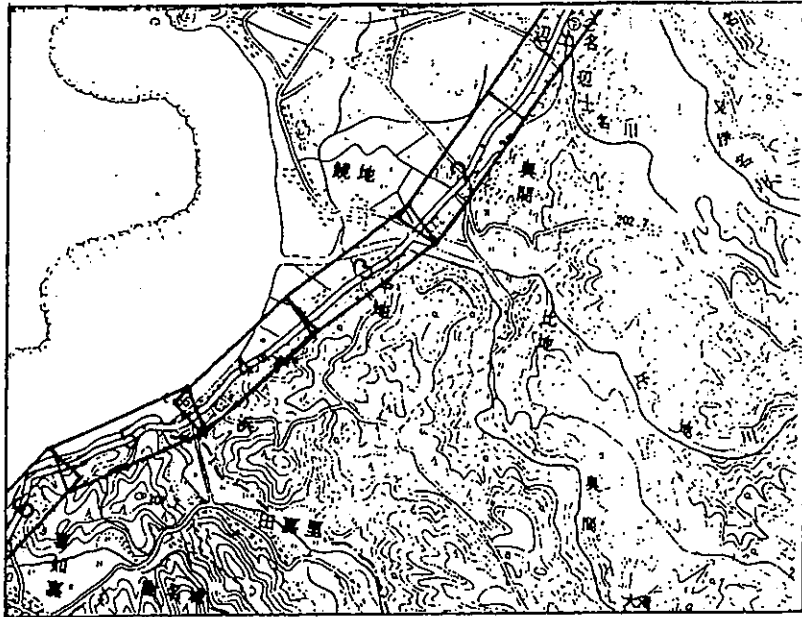
様式Ⅲ 路線樹木台帳

道路平面図に植栽区間と植栽形式を記入して、現況写真で植栽地周辺環境を把握する。また、植栽形式毎に詳細図を作成して樹種・規格・数量・支柱形式・支柱数量・植栽区間距離・植栽形式別実延長・植栽位置・植栽年度等を把握し、管理状況の記録、新規植栽の場合の施工者所見、他官庁からの移管等を記録する。

様式Ⅰ 〈路線別全体図〉

1. 項目と記載内容基準

路 線 名	その台帳の路線名を記入する。
路 線 総 延 長	直轄区間内の総延長をkm単位で記入する。
植栽区間距離総延長	様式Ⅲの植栽区間距離延長の総和をkm単位で記入する。
植栽形式別実延長	下図に示す植栽形式（A～Fタイプ）を歩道部中央分離帯部別にkm単位で記入し、交通島及び残地はヶ所数を記入して、それぞれの小計を算出する。 記録は5ヶ年間とし、累計を記入してもよい。
全 体 図	管内路線図（1/50,000）を貼布し、1km毎に区分して、区間番号を記入する。区間番号は起点を1として通し番号とする。
記 入 例	区画線  は20mm×6mmとし、数字は中央に記す。



様式Ⅱ 〈路線樹木集計表〉

1. 項目と記載内容基準

- 路線名 その台帳の路線名を記入する。
- 規格分類 高木（樹高3 m以上）、中木（樹高3 m未満～1 m以上）、低木（樹高1 m未満）、地被（芝等）の4段階に分類し、規格毎に1葉とする。
- 樹木名 路線内の総樹木名を和名で記す。
- 支柱形式 樹木に使用されている支柱及び類似した支柱を記号で記す。
- 支柱数量 現地調査で記録された支柱の数量を記す。
- 規格 樹高H・幹周C・枝張Wをm単位で記す。
- 記入例

樹木名	クロガネモチ	〃	ヤマモモ	〃	マテバシイ	〃	クスノキ	〃
支柱形式	E	F	F	F	F	F	F	F
支柱数量	38	125	39	61	125	74	34	57
規格	樹高H	5.00	4.00	4.00	3.00	4.00	3.00	3.00
	幹周C	0.45	0.20	0.30	0.20	0.30	0.20	0.30
	枝張W	2.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00

- 数量 様式Ⅲに記録された数量を集計する。
- 管理計画 樹種別に1月～12月迄の年間管理計画を立て、下記の記号を用いて表示する。
- 剪定 ○ 施肥 △ 除草 ⊙ 補植
- ☒ 支柱 × 病虫害駆除




	計画期間が2～3ヶ月に及ぶ場合は「□」のように示す。
管 理 記 録	管理者が5ヶ年間記録する。
剪 定	その区間内の剪定した樹木名、年月日、剪定に関する注意事項等を記す。
除 草	除草に使用した薬剤名、位置、年月日、使用量を記す。
施 肥	肥料名と対象樹木名、年月日、使用量を記す。
備 考	路線全体としての管理の問題や業務引継等の経緯を記録する。

様式Ⅲ 〈路線樹木台帳〉

1. 項目と記載内容、基準

路 線 名	その台帳の路線名又はバイパス名を記す。
距 離 標	様式Ⅲの区画図欄に添付した平面図の起点及び終点の距離標を記す。
植栽区間距離延長	植栽区間距離標の差をkm単位で記す。
植 栽 年 度	植栽工事が実施された年度を記す。
施 工 者	植栽工事を施工した業者名を記す。
区 間 番 号	様式1の全体図中に記入された配置番号を記す。
区 間 図	道路平面図(1/2,500)に植栽位置を帯状に記し、図中に植栽形式の記号を表示する。さらに、植栽区間500mあたりに1ヶ所の割合で現況写真を撮影し貼付する。撮影方向は起点から終点に向い、道路中央の位置で撮影する。 貼付する写真はカラー判のベタ焼サイズのものとする。
植 栽 年 度	植栽工事が実施された年度を植栽ヶ所別に記す。
詳 細 図	各植栽形式別に平面図、断面図、立面図を1/500で作成し、植付間隔・樹高・枝張寸法及び樹木名を記入する。
植栽区間距離表	その区間内に植栽されている起点と終点の距離標を記す。その場合、交通島・残地を除き、歩道部・中央分離帯部の最大長距離地点の距離標を記す。
植栽形式別実延長	現地に植栽されている歩道部・中央分離帯部の植樹距離を植栽形式別に記す。従って交差点・交通島・残地等の距離は除く。
植 栽 位 置	植栽されている位置を終点に向って、右歩道側道・左歩道側道・中央分離帯・交通島・残地の5名称に分類し記入する。
樹 木 名	植栽位置欄の区分毎に樹木名を和名で記す。
支 柱 形 式	樹木に使用されている支柱及び類似した支柱記号で記す。
支 柱 数 量	現地調査で記録された支柱の数量を記す。
規 格	区間内樹木の樹高(H)・幹周(C)・枝張(W)をm単位で記す。 表示する寸法値を以下のように定める。 樹高(H) 0.5以下、1.0、1.5、2.0、2.5、3.0、4.0、5.0、6.0以上

	幹周 (C) 0.2以下、0.3、0.45、0.6、0.8以上
	枝張 (W) 0.5以下、1.0、2.0、3.0、4.0以上、さらにH、C、Wの項目は以下の基準に従って記す。
	H=3.0以上の場合、H、C、Wを記入する。
	H=3.0未満の場合、H、Wを記入する。
記 入 例	(1) クロガネモチ 実測値 H6.2 C0.5 W4.2 の場合は 台帳記入値 H6.0以上 C0.45 W4.0と記入する。
	(2) ヤマモモ 実測値 H4.2 C0.4 W2.5 の場合は 台帳記入値 H4.0 C0.3 W2.0 と記入する。
	(3) ホルトノキ 実測値 H2.8 C0.15 W1.2 の場合は 台帳記入値 H2.5 ——— W1.0 と記入する。
	(4) トベラ 実測値 H0.45 W0.7 の場合は 台帳記入値 H0.5以下 W0.5 と記入する。
	(5) ハマヒサカキ 実測値 H0.3 W0.45 の場合は 台帳記入値 H0.5以下 W0.5以下 と記入する。
数 量	高木・中木・低木単値は本数、低木寄値は㎡数と単位面積当たりの平均値付本数を実測して本数を算出して記入し、地被は㎡数を記入する。 数量は5ヶ年間記録するが、各年度の植栽工事・枯死・補植等の増減による補正值を累計して記録してもよい。ただしその場合5ヶ年経過後は再度調査を必要とする。 また、植ますがあり、植栽されていないような植栽可能地は、名称を裡地として樹木名欄に記入し、㎡数を記す。
施 工 者 メ モ	新規植栽の場合、竣工以後の維持管理(剪定・消毒・灌水等)について施工の見地からの特記事項及び所見を記入する欄で、施工業者へ記入を依頼する。
管 理 記 録	管理者が5ヶ年間記録する。
・補植又は移植	植栽位置・樹木名・規格・数量・年月日を記す。
・支柱直し	位置・支柱形式記号・数量・年月日を記す。
・病虫害駆除	病害名・虫害名・薬剤名とその使用量・散布した樹木名・年月日を記す。
管 理 者 メ モ	管理記録欄の補足事項、その他所見を記す。
経緯及び枯補償	他官庁からの移管記録、竣工後1ヶ年の枯補償等の記録を記す。

路線別 全体図	路線名 号	路線総延長		植栽区間距離総延長					57年	58年
		KM		KM						
植栽形式 別実延長	歩道部 植栽形式		57年	58年	59年	60年	61年	中央分離帯 部植栽形式		
		Aタイプ							Aタイプ	
		Bタイプ							Bタイプ	
		Cタイプ							Cタイプ	
		Dタイプ							Dタイプ	
		Eタイプ							Eタイプ	
		Fタイプ							Fタイプ	
		小計							小計	
植栽形式 の内容	Aタイプ： (高木)+(中・低木)+(地被)		Bタイプ： (中・低木)+(地被)			Cタイプ： (地被)				
										
全体図	<div style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div>									

KM	59年 KM	60年 KM	61年 KM	事務所 様式 I - 枚						
----	-----------	-----------	-----------	--------------	--	--	--	--	--	--

57年	58年	59年	60年	61年	交通島及び 残地植栽 形式	57年	58年	59年	60年	61年	
						Aタイプ					
						Bタイプ					
						Cタイプ					
						Dタイプ					
						Eタイプ					
						Fタイプ					
					小計						

Dタイプ：
(高木)+(地被)

Eタイプ：
(中・低木)

Fタイプ：
(高木)



路線樹木集計表		路線名号		規格分類																			
樹木名																							
支柱形式																							
支柱数量																							
規格	樹高H																						
	幹周C																						
	枝張W																						
数量	57年																						
	58年																						
	59年																						
	60年																						
	61年																						
管理計画	1月																						
	2月																						
	3月																						
	4月																						
	5月																						
	6月																						
	7月																						
	8月																						
	9月																						
	10月																						
	11月																						
	12月																						
管 理 記 録	剪		定		除		草																
	樹木名	年月日	樹木名	年月日	薬剤名	位置	年月日	薬剤名	位置	年月日	肥												

路線樹木台帳	路線名 号	植栽区間距離標 KM~ KM	植栽区間距離延長 KM	植栽年度 年	施						
区間番号											
距離標 KM } KM											
区 間 図											
植 栽 年 度											
詳 細 図											
植栽形式別実延長(KM)											
植 栽 位 置											
樹 木 名											
支 柱 形 式											
支 柱 数 量											
規 格	樹高H										
	幹周C										
	枝張W										
数 量	57年										
	58年										
	59年										
	60年										
	61年										
施 工 者 メ モ										
										
										
										
										
管 理 記 録	補 植 又 は 移 植					支 柱 直 し					
	位 置	樹木名	H	C	W	数 量	年 月 日	位 置	支柱形式	数 量	年 月 日

